

行政視察報告書

令和6年1月24日

報告者 国宗 浩

【視察先】千葉県君津市

【視察日】令和6年1月15日

【視察項目】「ドローンを活用した橋梁点検実証実験」について

【視察内容】

君津市では、供用開始後50年以上の橋梁が全国平均を上回る37%となっており、健全性診断結果、早期措置段階以上が20%存在し、橋梁長寿命化の加速が課題になっている。その際コスト削減が必要であり、事後保全型から予防保全型管理を行っている。

ドローンを活用したコスト削減点検を職員が提案し、今まで民間委託していた点検業務を、職員が操縦資格をとり実施している。

これまで橋梁点検時は、車両の通行止めなどが不要になり、橋梁点検の平準化で5年に1度の点検ができるようになったことなど説明を受けた。

尚、座学の後、橋梁点検現場を視察し、実際のドローンの活用を見学させていただいた。

【所 感】

職員が直接点検することで、現場の実態を把握することが深まり、直近3年間で約5000万円程度のコスト削減が出来た。

又、他の市の施設での転用も可能となり、国の補助金も活用し、ドローンの購入などもできる。

判定までの流れの中では、まず人間の目視を行い、将来的にはAIによる判定も導入予定である。

課題として、画像の保管は、庁舎間サーバーで保管しているが、外部サーバーの活用も考えていかなければならないが、費用面で大きな課題が残る。

【視察先】静岡県御殿場市

【視察日】令和6年1月16日

【視察項目】「高齢者の買い物支援」について

【視察内容】

令和元年静岡県が行う「移動サービス創出支援事業」のモデル地区に選定され、当事業がスタートした。

市社会福祉協議会が、社会福祉法人やボランティアと連携し、「ごてんば福祉施設協同事業、絆（わ）」が地域における公益的な取組みとして、空き時間の車両を提供し、国交省大臣認定福祉車両運転講習を開催し、2日間の受講で運転手を育成し、福祉有償運送業者として活動している。

予算的にも車両保険料など少額で行い、住民主体で買い物支援や通いの場への支援を実施し、利用者も「自分で見て商品を選ぶ」「車の中で知り合いと会話ができる」「脳が若返る」など好評な事業でした。

【所 感】

高齢化時代の中、全国的に移動手段の確保が喫緊の課題となっている。

その中市社協が中心となり、買い物支援の中心となり、積極的に住民にかかわっておられることに、感心した。

課題として、担い手の高齢化も見据え、活動の継続性、福祉車両の確保、担い手の確保、住民主体の一体的な支援の取組みで、助け合いにつなげるなど、今後の課題を見受けられた。

まずスタートしたことに、並々ならぬ意気込みを感じ、本市においても、住民ニーズにそった、移動手段の確保が必要であることを、痛感した。